

これまでのコロナ対策の報告と今後の行事予定について

今年度は災害級と言われた猛暑の中、お盆の各行事も檀信徒皆様方の御協力により無事に終了することが出来ました。厚く御礼申し上げます。

ただ、これまで経験したことのないコロナ禍の中での実施となり、不十分な点も多くあったことと思います。

今後共、危機管理の向上に継続して取り組んで参りたいと存じますので、お気付きの点等がございましたら些細な事でも結構でございますので御連絡いただくと有り難く存じます。

1 これまでに取り組んできたこと

- ・読経させていただく時を除いて常時マスクの着用を原則とした。
 - ・本堂正面の他、随所にアルコール消毒液を設置。直接手で触れないように、足踏み式または自動噴霧式を設置した。
 - ・非接触型体温計を設置し、体調不良の方の検温を実施した。
 - ・本堂内の各椅子は、横に2m、縦に1mの間隔を空けて設置した。
 - ・法事等で本堂を使用した後は十分な換気と取っ手や木魚等、手に触れる部分の消毒を徹底した。
 - ・十日盆では上記の他、飛沫感染防止のため受付や塔婆、朱印帳を書くブースにパーティションを設置した。
- また、役員を多数配置し、参拝者同士の接触が少なくなる工夫をした。
- ・棚経等で檀信徒宅を訪問する時は、マスクを着用し入退時に持参した携帯用のアルコール消毒を実施した。

十日盆での取組



アルコール消毒液等の設置



全員マスク着用と消毒の実施



回向の僧侶はフェイスシールド着用



対面する場所はパーティション設置
裏面に続く

2 今後の取組について

心配したお盆の実施でしたが、考えられる対策を実施することで、各行事とも例年と大差なく終えることが出来ました。

最も心配した十日盆では、対策を十分に行ったことと、参拝者を誘導していただいた役員様の機敏な対応で問題なく終えることが出来ました。

また、棚経では檀信徒全体で約10軒のお参りしない御家庭がありましたが、大半はお寺で御回向させていただき、お断りの連絡があったのは数軒でした。

このことから9月以降は十分な対策と各行事の簡素化を図り、檀信徒各位の御理解を得て、実施して参りたいと考えます。

具体的な視点としては、以下のように取り組んでいきたいと考えています。

- ・感染が終息するまで、これまでの感染防止の取組以外に必要な応じて追加の対応を行う。
- ・今後、本堂を使用して法事や法要を行う際には、以下のような点に留意して実施する。
 - (1) 本堂内の参拝者の人数をフィジカルディスタンスを確保するため、法事では20名程度、法要では35～40名を限度とする。
 - (2) 各法要での実施時間を1時間程度とする。延長する場合は一旦休憩を取り、十分な換気を行う。
 - (3) 本堂西側の座敷を用いての湯茶や菓子等の接待は行わない。湯茶の接待を行う場合は、缶入りかペットボトルでの提供のみとする。
 - (4) 適正な規模に留意し、十分な感染防止に努めることで、法事や法要をできるだけ中止するのではなく、実施に向けた方策を探っていく。

3 今後の法事、法要の予定

(1) 年忌法要等

- ・檀信徒各位より本堂での実施依頼があった場合は、十分打ち合わせを行い、感染防止に留意して執り行う。

(2) 秋の彼岸 中日法要

- ・別紙プリントのように、例年より規模を縮小して行う。

(3) 佛教婦人会 写経会

- ・毎月第一土曜日の午後、これまで通りの形態で実施する。但し、湯茶の接待は行わず、お茶の缶を配ってこれに代える。

(4) お十夜法要

- ・今年は10月31日(土) 午後1時より2時まで行う。
- ・お十夜法要はお念仏の尊さを知り、感謝の気持ちを込めてお称えする大切な法会で、浄土宗では欠かすことの出来ない大切な法要です。
- ・今年は当初予定していた規模を大幅に縮小して行います。
- ・参拝者全員でお念仏をお称えした後、今回は浄土宗僧侶であり、幼稚園の経営者であり、海外でも活躍中のソプラノ歌手である寺西佐世様にお越しいただき、浄土宗宗歌や皆様よくご存じの曲を演奏いただく予定です。

詳しくは別途お知らせいたします。

